

【短報】青森県におけるコマルシジミガムシの記録

コマルシジミガムシ *Laccobius masatakai* Kamite, Ogata et Hikida, 2007 は、体長 1.8~2.5 mm 程の水生甲虫であり、これまでに福島県、山形県、新潟県、茨城県、神奈川県、富山県から記録されている (Kamite *et al.*, 2007; 上手・林, 2010)。筆者らは未記録であった青森県において本種を採集したので、初記録としてここに報告する。

9 exs., 青森県十和田市奥瀬, 13. IX. 2018, 熊谷採集・保管; 6 exs., 同所, 13. IX. 2018, 松島採集・保管; 14 exs., 同所, 13. IX. 2018, 森井採集・保管; 6 exs., 同所, 13. IX. 2018, 渡辺採集・保管。

採集した全ての個体は、林道脇の水が染み出しているコンクリート塀およびその足元を緩やかに流れる水たまりより得られた (図 3)。採集地での個体数は多く、いずれも湿ったコンクリート表面のくぼみに体をうずめるようにしていた。標高はおおよそ 650 m であった。

なお、同定は Kamite *et al.* (2007) に従い、雄交尾器の確認により行った。一部の雄個体について交尾器を確認したところ全て本種であったため、

同時に採集した雌個体も本種と同定した。

末筆ながら、本報告にあたって本種の分布記録についてご教示いただいた上手雄貴博士にこの場を借りて厚く御礼申し上げる。

引用文献

- Kamite, Y., T. Ogata & N. Hikida, 2007. Two new species of the genus *Laccobius* (Coleoptera, Hydrophilidae) from Japan. *Elytra*, 35 (1): 34–41.
 上手雄貴・林 成多, 2010. コマルシジミガムシを新潟県および富山県で採集. 甲虫ニュース, (169): 10.

- (熊谷拓時 802-0985 北九州市小倉南区志井 5-20
 国立北九州工業高等専門学校)
 (松島良介 305-8572 つくば市天王台 1-1-1
 筑波大学保全生態学研究室)
 (森井隆文 501-1193 岐阜市柳戸 1-1
 岐阜大学応用生物科学部)
 (渡辺黎也 305-8572 つくば市天王台 1-1-1
 筑波大学保全生態学研究室)



図 1. コマルシジミガムシ (青森県産, 松島撮影)。



図 2. 雄交尾器 (スケールバーは 1.0 mm, 松島撮影)。



図 3. 青森県における本種の生息環境 (A: 水が染み出しているコンクリート塀; B: コンクリート塀の足元の水たまり)。